

## 「女性先端科学者セミナーI」 報告書

情報科学専攻 M2 海老名桜子

日時：2008年8月29日（金）午前・午後

場所：（午前）奈良女子大学理学部・G302講義室（G棟3階）

（午後）奈良女子大学理学部・G307会議室（G棟3階）

対象：数学・物理科学・情報科学専攻の博士前期課程の学生

講師：Dr. Daroonwan Kamthonkiat

(Department of Geography, Faculty of Liberal Arts, Thammasat University)

講演題目：（午前）Drought Monitoring and Impact Assessment on Rice in a Lower Part of Northeastern Thailand for a Basis of Decision Support System.

概要・感想：

意志決定支援システムに基づく、タイ北東部における干ばつのモニタリングとイネに対するその影響評価に関して講演いただいた。講演内容は、リモートセンシングに初めてふれる学生にもわかりやすいように構成されており、日本とは異なるタイ地域独特のモニタリングの様子などを知ることができた。講演のスライドでは、研究の内容だけではなく、タイの様子が伝わる写真もあり、講演を通じてタイの文化を学ぶこともできた。また、私達学生のために、聞き取りやすい英語、わかりやすいスライドでお話をして下さったので、大変興味を持って聞くことができた。Kamthonkiat氏は大変明るく、学生にも気さくに話しかけ、質問などをしやすい雰囲気作りに努めて下さった。そのため、多くの学生が英語での質問やKamthonkiat氏からの質問に答えることができ、大変有意義な講義となった。

講演題目：（午後）Peak Detector Algorithm to identify irrigated and non-irrigated rice cultivation area

概要・感想：

衛星データ解析のための、稲作における灌漑を行っている地域と行っていない地域の判別のアルゴリズムに関して講演いただいた。講演内容は、専門的な内容であったが易しい英語を使い、大変わかりやすく説明をして下さった。二毛作といえば、異なる種類の作物を時期を分けて育てるイメージがあるが、タイでは日本のように1年を通じて気温差があまりないため、同じ種類を育てるという話には大変興味をもった。日本だけで物事を考えてしまう事が多いが、他の地域に関することを学ぶことで視野が広がることを実感できた。他国の方の講演は英語で行われることが多いため敬遠しがちであるが、新しい発見を得ることができ、有意義な体験ができると感じた講演であり、さらなる英語への勉強の意欲が増し、学生のうちに様々なことに耳を傾けたいと思えた講義であった。